

# 白山東傾面で採集したカミキリムシ

—1988年白山～大白川登山ルートでの調査から—

長谷川道明

The Cerambycid Beetles collected from the East slope  
of Mt.Hakusan, Central Honshu, Japan.

Michiaki HASEGAWA

日本の高山帯の西端をなす白山 (2,780m) は昆虫分布の点からも非常に重要な地域であり、古くから多くの研究者が調査に訪れている。富樫 (1978) によると、白山の昆虫が初めて文献上に登場するのは1822年のことで、以来多くの種が白山から報告されている。ハクサンシリアゲ、ハクサンクロナガオサムシといった白山を模式産地とし、白山の名のつく種類も少なくない。

カミキリムシについても例外ではなく、HAYASHI (1953) は白山麓三谷産の標本をholotypeとして、*Aragea mizunoi* トゲムネアラゲカミキリを新属新種として記載し、OHYASHI et HAYASHI (1960) は *Pidonia hakusana* ハクサンヒメハナカミキリ (現在はシラネヒメハナカミキリの亜種 *P. obscurior hakusana*) を白山から記載している。入場 (1981) によると白山およびその山麓部からは210種が確認されているという。

しかしこれらはすべて西側傾面である石川県からの報告であり、白山山系のほぼ半分を占める岐阜県側 (東傾面) からの報告は非常に少なく、大林 (1958), OHYASHI (1961), 鳥飼 (1968), 野平 (1982, 1986), 窪木 (1984) などによる計15種しか知らない。いうまでもなく、一つの山系のファウナを解明しようとするとき、片側の傾面のみでは文字通り片手落ちとなり、西側にくらべて遅れている東側傾面の調査が望まれる。しかし、白山はそのほとんどの地域が国立公園内の特別保護地区に指定されており、岐阜県側はほとんど調査されていないのが現状である。

筆者は岐阜県博物館が主宰する「白山東傾面学術調査」の一環として、1988年5～10月にかけて大野郡白川村、大白川～白山の登山ルート (いわゆる平瀬道) にそって、カミキリムシ科甲虫の調査をおこなった。単年の調査であるので、まだ多くの種が追加されるものと予想されるが、第一報として報告したい。

本文にあたり、東京都の下村徹氏には *Pseudosieversia* 亜属とクロハナカミキリについて貴重なご教示をいただいた。厚くお礼申し上げます。

## 今回の調査で得られた特筆すべき種類について

### (1) シコクヒメコブハナカミキリ

*Macropidonia (Pseudosieversia) japonica shikokensis* (HAYASHI) (図1, 2)

*Pseudosieversia* 亜属は、我国に産する *japonica* 以外には朝鮮半島・中国北部に分布する本亜属の模式種 *rufa* が知られるだけの小亜属で、研究者によっては独立の属として扱われる。*japonica* は3亜種に分類され、原名亜種 *j. japonica* チャイロヒメコブハナカミキリは中部山岳地帯から、*j. shikokensis* シコクヒメコブハナカミキリは四国および本州西南部から、*j. amanoi* キュウシュウヒメコブハナカミキリは九州から知られる (これらはそれぞれ独立種として扱われることもある)。

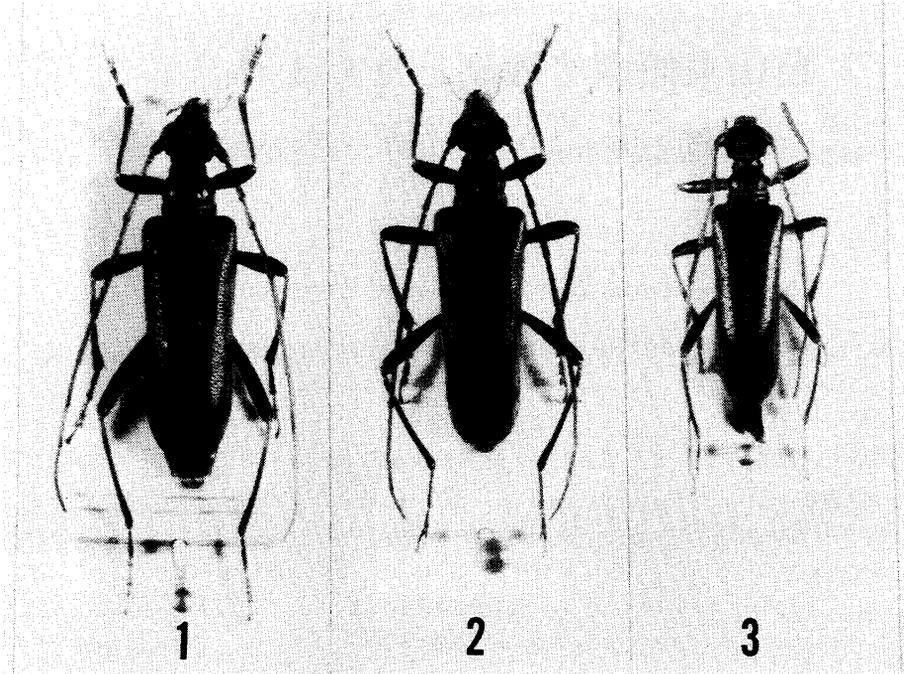


図1—3. 1, シコクヒメコブハナカミキリ *M.(P.)j.shikoknensis* (大白川産); 2, 同 (天生峠産); 3, チャイロヒメコブハナカミキリ *M.(P.)j.japonica* (上宝村右俣谷産)

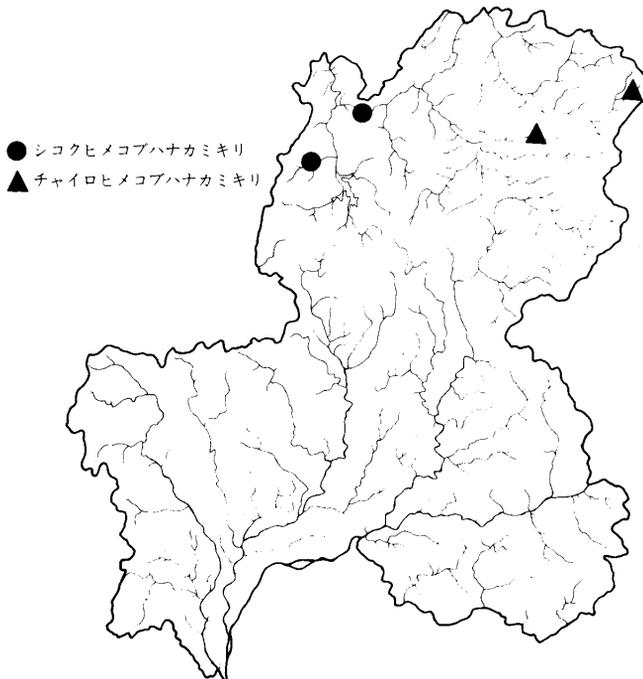


図4. 岐阜県内における *Pseudosieversia* 亜属の分布.

本亜種は、原名亜種とは体色がより赤味が強いこと、前胸背側部の突起はより弱く先端が丸いこと、オスの第5腹板のくぼみがより弱く小さいことなどによって区別される。既知の産地では京都府芦生の記録が最も東で、琵琶湖の東には分布しないものと考えられていた。今回の調査で大白川（標高約1,300m付近）のカツラの老木から複数の個体を採集することができた。これによって本亜種の分布域がかなり東まで広がっていることが確認されたことになる。また、白山山系ではないが、1987年に吉城郡河合村天生峠においても本亜種を確認しているため、分布資料として併せて報告したい。

8 exs., 岐阜県吉城郡河合村天生峠 (ca.1,400m alt.), 18. VII. 1987, 筆者採集。

なお、岐阜県内では北アルプス山麓で原名亜種が採集されている。所蔵の標本および文献記録から県内の両亜種の確認地点を示した（図4）。

## (2) クロハナカミキリ 前胸赤色型

*Leptura (Leptura) aethiops* PODA (図5, 6, 7)

クロハナカミキリ *L.aethiops* はヨーロッパからソ連、中国北部、日本にかけて、ほぼ旧北区全域に分布する種である。邦産種はかつて、全体が黒色のものと、メスの前胸が赤色になるものの2型が知られていたが、草間・高桑(1984)は、頭部・前胸の体毛の状態、前胸・上翅の点刻の状態および上翅端部の形状などを検討し、両者が互いに別種であることを明らかにした。両者の主な特徴は次のとおりである。

ムネアカクロハナカミキリ *L. (L.) dimorpha* BATES

メスの前胸は赤色。前頭や側頭の立毛は短く、前胸背は短い剛毛で密におおわれ長い立毛はごくまばらである、上翅の点刻はより大きく、翅端部は斜めにえぐられて外角は尖る。北海道、本州、四国、九州、樺太、朝鮮半島、シベリアに分布する。

クロハナカミキリ *L. (L.) aethiops* PODA

オス・メスともに全体黒色。前頭は直立した長毛を密に有し、側頭は黒色長毛群が明らか、前胸背は直立した長毛に密におおわれ、前種のような短い剛毛はほとんど認められない、直翅はより小さく密に点刻され、翅端部は斜めに切断状で内角は直角より広く、外角は突出しないで丸まる。北海道、本州、樺太、旧北区一帯に分布する。本州では前種よりも高標高（トウヒ帯—コケモモ帯）に出現し、白山山系は分布の西端にあたる。

ところが今回の調査で明らかに *aethiops* の特徴を持った、前胸背が赤色となるメス2個体が採集された。*aethiops* の前胸が赤色となる個体は今回が初めての報告である。これらの個体は手許にある岐阜県関市産の *dimorpha* 5メスと比較すると、赤色部の出現のしかたに相異が認められた。すなわち *dimorpha* に比較して赤色部が狭く、基部および端部に広く黒色部が認められる。岐阜県博物館に収蔵されている標本を調査した結果、他にも吉城郡上宝村笠ヶ岳産（北アルプス）の標本に白山のものに相当する個体が見つかったが、やはり同様な特徴が認められた（図16—17）。

また今回の調査では前胸が黒色のメスも同時に採集されたので、両者および *dimorpha* の受精嚢 (spermatheca) を調べた（図9—15）。その結果、*dimorpha* の受精嚢は種としての特徴が認められたが、他は形質が不安定で、これらの資料だけでは特徴が把握できなかった。今後、資料の蓄積とともに、この「赤色型」の分布に関するくわしい調査が望まれる。

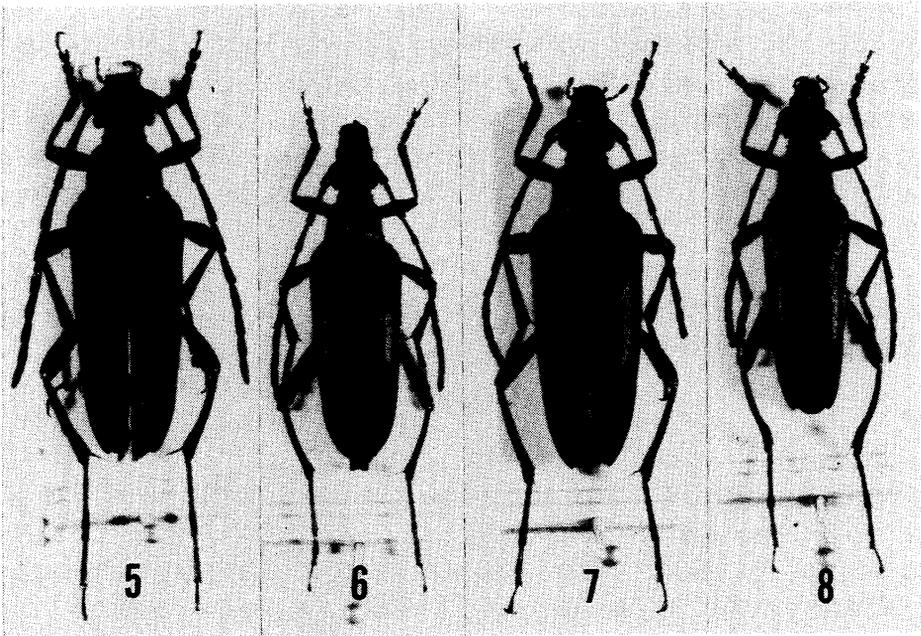


図5-8. 5, ムネアカクロハナカミキリ *L. (L.) dimorpha*; 6, クロハナカミキリ *L. (L.) aethiops* (前胸背赤色型); 7, 同 (前胸背黒色型); 8, 同オス.

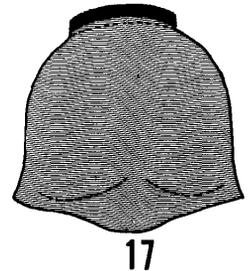
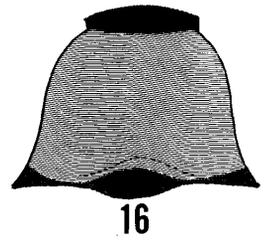
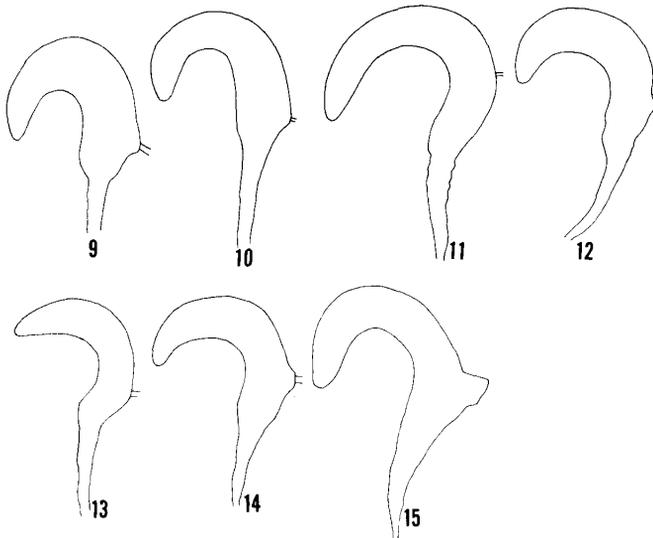


図9-15. クロハナカミキリ二種の受精囊 9, 10, ムネアカクロハナカミキリ *L. (L.) dimorpha*; 11, 12, クロハナカミキリ *L. (L.) aethiops* (前胸赤色型); 13-15, 同 (前胸黒色型).  
 図16-17. クロハナカミキリ二種のメス前胸背. 16, クロハナカミキリ *L. (L.) aethiops* (前胸赤色型); 17, ムネアカクロハナカミキリ *L. (L.) dimorpha* (赤色部のあらわれ方を示す).

## 採集目録

調査は主に大白川温泉～大倉山～白山の登山ルート（平瀬道）にそって行った。採集地の標高は大白川（約1,300～1,500m）、大白川～大倉山（1,500～2,000m）、大倉山～白山（2,000～2,500m）である。目録中の標本は岐阜県博物館と筆者の元に保管される。採集者はすべて筆者である。

## ホソカミキリ亜科 Disteniinae

ホソカミキリ *Distenia gracilis gracilis* (BLESSIG)

1 ex., 大白川, 14～15. IX. 1988.

## ノコギリカミキリ亜科 Prioninae

ウスバカミキリ *Megopis (Aegosoma) sinica sinica* (WHITE)

1 ex. (目撃), 21. VII. 1988.

## ハナカミキリ亜科 Lepturinae

テツイロハナカミキリ *Encyclops olivacea* BATES

3 exs., 大白川～大倉山, 17～18. VI. 1988 ; 16 exs., 大白川, 1～3. VII. 1988.

フタコブルリハナカミキリ *Stenocorus coeruleipennis* (BATES)

2 exs., 大白川, 1～3. VII. 1988.

モモグロハナカミキリ *Toxotinus reini* (HAYDEN)

1 ex., 大白川, 1～3. VII. 1988 ; 1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

カラカネハナカミキリ *Gaurotes (Paragaurotes) doris doris* BATES

1 ex., 大白川～大倉山, 17～18. VI. 1988 ; 5 exs., 大白川, 1～3. VII. 1988 ; 1 ex., 大白川, 19. VII. 1988 (青色型), 6 exs., 大白川～大倉山, 20. VII. 1988 (うち一個体青色型) ; 6 exs., 大倉山～白山, 21. VII. 1988 ; 1 ex., 翠ヶ池 (2,500m), 12. VIII. 1988.

ブナ帯から高山帯にかけて普通。本種の色彩としては珍しい青色のものが2個体採集された。

キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens* BATES

4 exs., 大白川～大倉山, 17～18. VI. 1988 ; 1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

7月19日の採集記録は本種としては遅い時期のものである。

アカイロニセハムシハナカミキリ *Lemula nishimurai* SEKI

1 ex., 大白川～大倉山, 17～18. VI. 1988 ; 4 exs., 大白川, 1～3. VII. 1988 ; 1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

ヒナルリハナカミキリ *Dinoptera minuta* (GEBLER)

23 exs., 大白川～大倉山, 17～18. VI. 1988 ; 5 exs., 大白川, 1～3. VII. 1988.

シコクヒメコブハナカミキリ *Macropidonia (Pseudosieversia) japonica shikokensis* HAYASHI

10 exs., 大白川, 1～3. VII. 1988 ; 3 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

標本は、岐阜県博物館、筆者、下村徹氏（東京）の元に保管されている。

ハクサンヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) obscurior hakusana* OHBAYASHI et HAYASHI

1 ex., 大白川, 1～3. VII. 1988 ; 1 ex., 大白川, 19. VII. 1988 ; 4 exs., 大白川～大倉山, 19～21. VII. 1988 ; 1 ex., 大倉山～白山, 11. VII. 1988.

大白川産のうち1個体（♂）は前胸の黄褐色のものである。標高1,400m付近からみられるが個体数は少ないようである。

オオバヤシヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) limbaticallis ohbayashi* (MATSUSHITA)

1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

マツシタヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) matsushitai* OHBAYASHI



7 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 23 exs., 大倉山~白山, 20~21. VII. 1988; 5 exs., 大倉山~白山, 11. VIII. 1988.

カクムネヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) bouvieri* PIC

4 exs., 大白川, 19. VII. 1988; 13 exs., 大倉山~白山, 20~21. VII. 1988.

ツマグロヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) sp.*

5 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 5 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

本種は前種, あるいはムネモンヒメハナカミキリ *P. (P.) maculithorax* と混合されてきたものであるが, 窪木 (1986) によって独立種とされたものである。翅端部に黒紋 (A 紋) を持ち, 前胸背側部は三角形に突出するが先端は比較的丸い, オスの腹部末端節は円形~三角形に浅く切れこみ両側はまるめられるなどの諸点によって区別される。しかし本種および前種を含むカクムネヒメハナカミキリ種群には分類学的に未解決な問題が残されており, 再検討を要するという。

今回の調査で採集された白山産についてみると上記の2種は, 窪木 (前出) の指摘以外にも以下の点で区別された。①オスの触角は明らかにツマグロヒメハナの方が長く, カクムネヒメハナはかろうじて末端 $\frac{1}{2}$ 節を残して翅端に達するのに対し, 第10節の $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{2}$ あたりで翅端に達する。②オス交尾器についてそれぞれ3個体ずつ調査した結果, median lobe, lateral lobesともツマグロヒメハナはカクムネヒメハナよりも明らかに細く, lateral lobe先端の毛もより短く粗である (図29-32)。

なお, 白山ではツマグロヒメハナはカクムネヒメハナよりもより低標高の場所にみられ, 出現期もより早いように思われた。

ヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) mutata* (BATES)

23 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 4 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

ナガバヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) signifera* (BATES)

1 ex., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988; 21 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 11 exs., 大

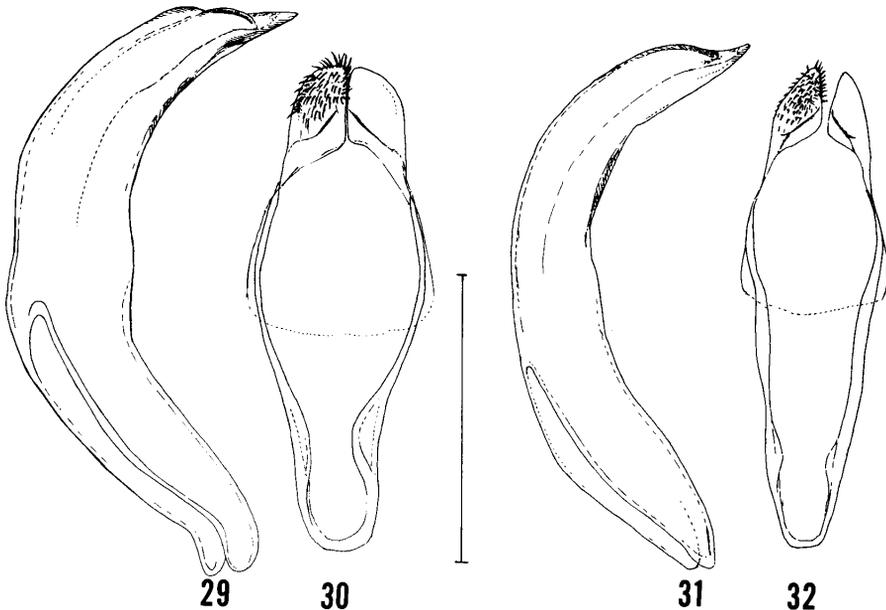


図29-32. カクムネヒメハナカミキリ種群二種のオス交尾器 29, 30, カクムネヒメハナカミキリ *P. (P.) bouvieri*; 31, 32, ツマグロヒメハナカミキリ *P. (P.) sp.*; 29, 31, median lobe; 30, 32, lateral lobes. Scale: 1.0mm.

白川, 19. VII. 1988; 2 exs., 20. VII. 1988.

キベリクロヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) discoidalis* PIC

17exs., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988; 27exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 2 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

メスの上翅は、斑文の発達した個体から、全く黒色となる個体まで出現する (図23-24)。

オオヒメハナカミキリ *Pidonia (Pidonia) grallatrix* (BATES)

21exs., 大倉山 (2,000m), 20~21. VII. 1988.

ヨコモモンヒメハナカミキリ *Pidonia (Cryptopidonia) insuturata* (PIC)

2 exs., 大倉山 (2,000m), 20~21. VII. 1988.

この地域では少ないようである。

ムネアカヨコモモンヒメハナカミキリ *Pidonia (Cryptopidonia) masakii* HAYASHI

51exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 5 exs., 大白川~大倉山, 20~21. VII. 1988; 4 exs., 大白川~大倉山, 12~13. VIII. 1988.

黒色部のかなり発達した個体も出現する。

ニセヨコモモンヒメハナカミキリ *Pidonia (Cryptopidonia) simillima* OHBAYASHI et HAYASHI

19exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

セスジヒメハナカミキリ *Pidonia (Cryptopidonia) amentata amenta* (BATES)

55exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

ミワヒメハナカミキリ *Pidonia (Cryptopidonia) miwai* (MATSUSHITA)

3 exs., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988; 24exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 6 exs., 大白川, 19. VII. 1988; 2 exs., 大白川~大倉山, 21. VII. 1988.

チャイロヒメハナカミキリ *Pidonia (Mumon) aegrota aegrota* (BATES)

14exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 8 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

フタオビノミハナカミキリ *Pidonia (Omphalodera) puziloi* (SOLSKY)

4 exs., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988; 7 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 1 ex., 大白川~大倉山, 20~21. VII. 1988.

7月20~21日の採集記録は本種としては遅い時期のものと思われる。

ニセフタオビノミハナカミキリ *Pidonia (Omphalodera) testacea* (MATSUSHITA)

6 exs., 大倉山~白山, 20~21. VII. 1988; 4 exs., 大倉山~白山, 11. VIII. 1988; 翠ヶ池 (2,500m), 3 exs., 12. VIII. 1988.

およそ2,000m付近 (大倉山あたり) より高所にみられるようである。

チビハナカミキリ *Grammoptera chalybeella* BATES

1 ex., 大白川, 1~3. VII. 1988.

ヌバタマハナカミキリ *Judolidia bangi* (PIC)

1 ex., 大白川~大倉山, 20. VII. 1988; 1 ex., 大白川~大倉山, 11. VIII. 1988.

岐阜県では採集例の少ない種である。

チャボハナカミキリ *Pseudallosterna misella* (BATES)

12exs., 大白川, 19. VII. 1988.

ミヤマクロハナカミキリ *Anoploderomorpha excavata* (BATES)

11exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 3 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

クドルリハナカミキリ *Anoploderomorpha monticola* (NAKANE)

15exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

ルリハナカミキリ *Anoploderomorpha cyanea cyanea* (GEBLER)

2 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 1 ex., 大白川~大倉山, 20. VII. 1988.

アカハナカミキリ *Corymbia succedanea* (LEWIS)

1 ex., 大倉山~白山, 13. VIII. 1988.

一般には普通種だがこの地域では少ないらしく, 入場 (1981) によると白山からの確実な採集例がないという。

クロハナカミキリ *Leptura (Leptura) aethiops* PODA

3 exs., 大倉山~白山, 20~21. VII. 1988 (1 ♀は前胸赤色); 4 exs., 大倉山~白山, 20~21. VII. 1988 (1 ♀は前胸赤色); 3 exs., 大倉山~白山, 14~15. IX. 1988.

9月14~15日の採集記録は本種としては遅い時期のものである。

ツماغロハナカミキリ *Leptura (Leptura) sp.*

2 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 2 exs., 大倉山~白山, 21. VII. 1988.

従来, ヤツボシハナカマキリ *L. (L.) mimica* の亜種あるいは変種とされていたものである。

カタキハナカマキリ *Pedostrangalia femoralis* (MOTSCHULSKY)

1 ex., 大白川~大倉山, 20. VII. 1988; 15 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

県内では採集例の少ない種であるが, この地域では少なくない。

ヒゲジロハナカミキリ *Japanostrangalia dentatipemis* (PIC)

1 ex., 大白川, 13. VIII. 1988.

アオバホソハナカミキリ *Strangalomorpha tenuis aenescens* BATES

4 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 7 exs., 大白川, 19. VII. 1988; 3 exs., 大白川~大倉山, 20. VII. 1988.

タテジマホソハナカミキリ *Parastrangalis shikokensis* (MATSUSHITA)

7 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

ニンフホソハナカミキリ *Parastrangalis nymphula* (BATES)

7 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 21 exs., 大白川, 19. VII. 1988; 1 ex., 大白川~大倉山, 20. VII. 1985.

#### カミキリ亜科 Cerambycinae

タカオメダカカミキリ *Stenhomalus takaosanus* OHBAYASHI

9 exs., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988; 7 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

一般には少ない種であるが, この地域では比較的よくみられた。幼虫はブナの枯枝を食害する。

アカネカミキリ *Phymatodes (Poecilium) maaki* (KRAATZ)

3 exs., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988.

シロオビチビヒラタカミキリ *Phymatodes (Paraphymatodes) albicinctus* BATES

1 ex., 大白川, 1~3. VI. 1988.

シラケトラカミキリ *Clytus melaenus* BATES

4 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

キスジトラカミキリ *Cyrtoclytus caproides caproides* (BATES)

5 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 1 ex., 大倉山~白山, 13. VIII. 1988.

エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (CHEVROLAT)

1 ex., 大白川, 1~3. VII. 1988.

ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta diminuta* (BATES)

3 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

カンボウトラカミキリ *Hayashicyltus acutivittis inscriptus* (BATES)

14exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 4 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

岐阜県下では採集例の少ない種類であるが, この地域では比較的よくみられた。

トゲヒゲトラカミキリ *Demonax (Demonex) transilis* BATES

3 exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

シロトラカミキリ *Paraclytus excultus* BATES

10exs., 大白川~大倉山, 17~18. VI. 1988; 10exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

マツシタトラカミキリ *Anaglyptus matsushitai* HAYASHI

10exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

エゾトラカミキリ *Oligoenoplus rosti rosti* (PIC)

12exs., 大白川, 1~3. VII. 1988.

珍しい種であるが, 石川県側ではかねてから記録がある。すべてツルアジサイの花より採集した。岐阜県下からの確実な採集記録はこれが初めてと思われる。

フトカミキリ亜科 Lamiinae

シナノクロフカミキリ *Asaperda agapanthina agapanthina* BATES

1 ex., 大倉山 (2,000m), 13. VIII. 1988.

エゾサビカミキリ *Pterolophia (Pterolophia) tsurugiana* (MATSUSHITA)

1 ex., 大白川, 1~3. VII. 1988; 1 ex., 大白川~大倉山, 11. VIII. 1988.

マヤサンコブヤハズカミキリ *Mesechthistatus furciferus* (BATES)

1 ex., 大白川~大倉山, 1. VIII. 1988.

ヒメヒゲナガカミキリ *Monochamus (Monochamus) subfasciatus subfasciatus* BATES

1 ex., 大白川, 1~3. VII. 1988; 1 ex., 大白川, 13. IX. 1988.

ピロウドカミキリ *Acalolepta fraudatrix fraudatrix* (BATES)

1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

ニセピロウドカミキリ *Acalolepta sejuncta sejuncta* (BATES)

1 ex., 大白川, 19. VII. 1988.

ゴマフキマダラカミキリ *Annamanum griseolum* (BATES)

1 ex., 大白川~大倉山, 11. VIII. 1988.

ブナ帯でよく採集されるが, 少ない種類である。

*Miccolamia glabricula* BATES

1 ex., 大白川~大倉山, 11. VIII. 1988.

本種とその近縁種は分類学的な問題が残されており, 再検討が必要である。ここでは一応, 本種として報告しておく。標本は筆者が保管している。

キッコウモンケンシカミキリ *Exocentrus testudineus* MATSUSHITA

1 ex., 大白川~大倉山, 11. VIII. 1988.

キモンカミキリ *Menesia sulphurata* (GEBLER)

1 ex., 大白川, 13. IX. 1988.

クロニセリノゴカミキリ *Eumecocera unicolor* (KANO)

1 ex., 大倉山~白山, 21. VII. 1988; 1 ex., 大白川, 13. IX. 1988.

ムネグロリノゴカミキリ *Nupserha sericans* (BATES)

11exs., 大白川, 1~3. VII. 1988; 8 exs., 大白川, 19. VII. 1988.

(以上, 65種)

## 参考文献

- 入場 登, 1981. カミキリムシ類. 白山地域自然環境調査報告書: 52-53, 石川県環境部.
- 大林一夫, 1949. 昆虫図集 (其の3) 珍しいカミキリムシ. 新昆虫, 2(6): 1, pl. 1. (未見)
- OHBAYASHI, K., 1961. New Cerambycidae from Japan(6). *Ent. Rev. Japan*, 13(1): 16-20, pl. 4. (未見)
- et HAYASHI, M., 1960. Study of *Pidonia* group (Col: Ceramb.) II. *Ent. Rev. Japan*, 11(1): 13-16, 2 pls.
- 窪木幹夫, 1984. ヒメハナカミキリ属. 日本鞘翅目学会編 日本産カミキリ大図鑑: 173-200, pls. 9-14, 講談社.
- 1986. カクムネヒメハナ種群の分布について. 昆虫と自然, 21(12): 13-17.
- 草間慶一・高桑正敏, 1984. ハナカミキリ亜科 (部分), 日本鞘翅目学会編 日本産カミキリ大図鑑: 153-248, pls. 5-25.
- 高井 泰, 1987. 大林一夫氏が岐阜県から記録したカミキリムシ. 啓蟄, 14(12): 23-27.
- 鳥飼兵治, 1969. 飛騨地方の鞘翅目の分布について. 生物教育, 13: 137-154.
- 富樫一次, 1978. 白山の昆虫, 265pp. 北国出版, 金沢.
- 野平照夫, 1982. 岐阜県のカミキリムシ類. 岐阜県の昆虫: 137-162, 445-469. 岐阜県.
- 1986. 岐阜県のカミキリムシ類—記録の追加と訂正 (その1)—. 啓蟄, 14(11): 11-16.
- HAYASHI, M., 1953. Studies on Cerambycidae from Japan and its Adjacent Regions(II). *Ent. Rev. Japan*, 6(5): 38-42, pl 8. (未見)